



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 西 谷 雅 之
幹 事 岡 部 倫 正 会 報 委 員 長 中 辻 康 裕

Rotary  BE THE INSPIRATION
インスピレーションになろう
2018-2019年度国際ロータリー会長 バリー・ラシン

R I 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2388
2018-9-28

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会) 9月28日(第4例会)

●新会員自己紹介

村上正浩会員

次週のお知らせ) 10月5日(第1例会)

- 表彰・ホームクラブ連続皆出席
- お祝・誕生日 結婚記念日 会社創立記念日 入会記念日
- 卓話 「大阪府における薬物乱用の現状について」
薬物乱用を防ぐためには正しい知識を普及することが必要です。大阪府が取り組む啓発活動についてお話しします。

大阪府健康医療部 薬務課 主査
砂川奈芳子様
(宇津井隆男社会奉仕委員長担当)

- 理事会 11:30 ~ 12:10
シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ
- クラブフォーラム(社会奉仕)
13:40 ~ 15:00
シェラトン都ホテル大阪 3階 金剛の間
- 食膳 <日本料理 松花堂弁当>

次々週のお知らせ) 10月12日(第2例会)

- 卓話 「ロータリーとロータリークラブの再認識」
岡部泰鑑会員

先週の記事) 9月21日(第3例会)

●出席報告

出席会員 36名 (内免除会員 8名)
会員総数 47名 (同上 17名)
ゲスト 0名
ビジター 1名

計 37名
ホームクラブ出席率 94.74%

9月7日(第1例会) 補正出席率 100% (MU 3名)

●ゲスト&ビジター(敬称略)

佐々木恭一(大阪東)

◆会長の時間◆

ポリオは「小児麻痺」とも呼ばれ子供の病気という印象がありますが、実は大人もかかる感染症です。死亡率に関しては、小児では2~5%ですが、成人では15~30%と高いそうです。日本におけるポリオは、1940年代頃から全国各地で流行がみられ、1960年には北海道を中心に5,000名以上の患者が発生する大流行となりました。そのため1961年に生ポリオワクチンを緊急輸入し、一斉に投与することによって流行は急速に終息しました。引き続いて国産生ポリオワクチンが認可され、1963年からは国産生ポリオワクチンの2回投与による定期接種が行われて現在に至っています。1980年の1型ポリオの症例を最後に、その後は野生型ポリオウイルスによるポリオ麻痺症例は見られていません。

英国のポリオサバイバーの実話、体にまひ障害を引き起こすポリオの悲惨さと、障害を抱えながら懸命に生きる男性を描いた映画『ブレスしあわせの呼吸』(原題『Breathe』)が、今年9月7日から日本全国で公開されています(米国では2017年10月に公開)。この映画の主人公ロビンは、28歳の時ナイロビでポリオに罹患。余命数カ月を宣告されて36年、人工呼吸器と共に世界一幸せに生きた男とその家族の奇跡の物語です。ロータリーもこの映画に協力しております。大阪ではシネ・リーブル梅田、なんばパークスシネマ、MOVIX堺、MOVIX八尾で鑑賞できます。

◆幹事報告◆

- 地区財団委員会、補助金小委員会より『2660地区における台風21号等の災害支援(補助金臨時費)』のお知らせが届いています。クラブが継続して社会奉仕活動をしている福祉施設、協力団体などが対象になっています。山本(英)R財団・米山奨学委員長、宇津井社会奉仕委員長へ回付しております。

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

- 地区ローターアクトクラブより関西四地区交流会開催の案内が届いています。出席される方は事務局に申込書を置いておきますので、お声掛けお願い致します。
- 地区ロータリー学友会よりロータリー学友会 総会開催の案内が届いています。山本(智)青少年委員長へ回付しております。

◆ 委員会報告 ◆

親睦・出席副委員長 小原一真

来る11月16日、情報集会を予定しております。

船に乗って大川下り、串カツを食べてビールで乾杯という趣向です。

会員拡大についてディスカッションしていただこうと思います。ふるってご参加ください。

会員増強委員長 村上武史

本日、親睦・出席委員会の皆様より提案をいただき、11月に情報集会をクルージングで行うので、その時に会員増強の話をしてはどうかとの問い合わせがありましたので、今までのチームの進捗状況及び成果を披露していただけたら良いと考え、提案をお受けしましたので、ここでご報告させていただきます。

卓話

9月21日 <第3例会>

「外から見た最近の大学事情」

尾崎敬則会員

最近の大学を巡る事情として、まず挙げられるのは、18歳人口減少です。18歳人口は、2030年には104万人、2040年には88万人と予測されています。'17年から'30年までで16万人、2040年で32万人の減少です。大学進学率は'17年は52.6%でしたので、仮に50%とすると、大学進学者はそれぞれ8万人、16万人の減少となります。しかも、'16年から'30年の18歳人口減少率は、滋賀が10%未満、京都・兵庫は10~15%未満であるのに対し、大阪は15~20%未満の減少とのこと。大阪の大学は、この様な環境で進学者を獲得しなければなりません。しかし、大阪の国・公立大学は、高校の教員が勧める大学としても、生徒に人気がある大学としても、他の国立や私学に一步譲っているなどと雑誌で評価されているものの、教育・研究力では優れて

いると評価されています。また、学生の家庭の年間平均収入額をみますと、'14年の統計によれば私立大学生の家庭の826万円を国立大学生の家庭の839万円が上回り、公立大学生の家庭のそれは733万円となっています。これと関連するのでしょうか。設置団体出身の学生は他からの学生より授業料が安いことがあります。このようなことを考えますと、幅広い層の進学のためには公立大学は是非必要です。そして、大阪の公立大学はもっと教員や生徒などに選ばれる大学になる必要があります。そのためには、大阪の公立大学は、これからまだまだやるべきことがいろいろあるといえます。これに対し、卒業生等は勿論、ロータリアンをはじめ、府民や市民の支援と理解が必要ですし、大学もこれをもっと効果的に求めることが重要だと思います。

にこにこ箱

9月21日(第3例会)

- 本日卓話をさせていただきます。下手なパワポを使います。どうぞ宜しくお願いします。
尾崎会員
- ゴルフ部コンペに準優勝しました。いつもブービーメーカーでしたので、びっくりです。
井上会員
- 妻が出演した日本テレマン協会コンサートが盛会裡に終わりました。ご来場いただいた皆様方、大変有り難うございます。
中辻会員
- 南賀さん、西谷さん、先日ありがとうございました。
濱田会員
- 宮田さん、先週どうもありがとうございました。
松田会員
- 宮田さん、昨日は大変ありがとうございました。
村上(武)会員
- 村上(武)さん、お気遣いいただき、ありがとうございます。
武田会員
- 西谷会長、ご馳走になりました。
若手一同
- その他、お祝い 2件

(編集担当 松田・岩永)

会員増強にご協力を!!